

－ 資料 －

## 神戸女子短期大学食堂 2 階のリフォームについて その 2

本 保 弘 子

### Redecoration of the Dining Area on the Second Floor of Kobe Women's Junior College, Part Two

Hiroko HOMBO

#### 要 旨

平成23年度には神戸女子短期大学食堂 2 階の厨房部分を除くスペースのリフォーム計画案を学生部食堂改善部に提出し、採用された。平成24年度には厨房部分の撤去工事により約31㎡が学生利用可能なスペースとして追加となった。このスペースのリフォーム計画案として、パウダーコーナーを提案した。これは、キャンパススペースに関する学生満足度を向上させるために、女子学生にとって居心地の良い居場所空間の一つとして提案したものである。

キーワード：キャンパス計画 campus planning

憩いの場 place of recreation and relaxation

居場所 place

#### 1. はじめに

神戸女子短期大学学生部食堂改善部会では、平成22年度、23年度に食堂 2 階のリフォームを検討することになり、筆者は委員の立場で複数のリフォーム案を提案した。23年度には、厨房部分を除くリフォームの実施が決まり、筆者の提案の一つが採用となった<sup>1)</sup>。採用案は、食堂 2 階の座席数を増加し、食事場所を兼ねる丸テーブルのラウンジ風エリアを含むものであった。リフォーム後は、昼食時間帯以外でも利用されている。ラウンジ風エリアでは、おしゃべりなど友人とくつろぐ学生の姿がみられ、座席数の多い長方形テーブルでは、レポート作成など数人で学ぶ学生の姿を見かける。

平成24年度には、食堂2階の階段北側にあった厨房部分の撤去工事が実施された。これに伴い学生が利用できる食堂スペースとして約31㎡が追加となった。このスペースのリフォーム計画案として、食事用の椅子とテーブルを配置するとともにパウダーコーナーを提案した。これは平成22年度学生懇話会の学生代表からの要望・意見として、「化粧室（メイクアップルーム）

が欲しい。」があげられたことに答えようとするものである。キャンパススペースに関する学生満足度を向上させるために、女子学生にとって居心地の良い居場所空間の一つとして提案したものである。大多数の女子学生の日常生活には、お化粧直しはかかせないものである。キャンパスは学びの場であるとともに生活の場であると考え。今回の提案も、前回同様、学生生活をより充実させるためのキャンパス内における生活空間・交流空間であり、在学生の憩いの場であり、教室とは異なる「ホッとする」スペース、学生時代の思い出の源泉となるスペースとしたい。昼食時以外でも利用したくなる居場所空間の創出をめざした。

また、女子短大のキャンパススペースデザインは、利用者である女子学生の目線で決めていくべきだと考える。業者からの一つだけの提案を受け入れて実施する方法を続けていては女子学生の満足度は向上しない。他の女子大学では既に学生の意見を取り入れた図書館リフォームを実施し、WEB ニュースとして報道されている<sup>2)</sup>。

## 2. パウダーコーナーリフォーム計画案 その1

図1はリフォーム計画案平面図を示す。

図2はパウダーコーナーを含む食堂2階スペース全体のパース、図3は家具配置平面図である。

キャンパス内のスペースなので、パウダーコーナーは女子学生が好む華やかさはあるが、品位を保つものとする。リフォーム済の171席配置部分とは、まったく異なる雰囲気となる。そこでリフォーム済スペースで食事をする多くの学生がパウダーコーナーを見て感じる違和感に配慮し、アルコーブの東側の壁にそって一面のみをパウダーコーナーとして13席を設ける。魅力的なパウダーコーナーがアルコーブの奥に少し見える雰囲気とする。見え方の調整として、リフォーム済スペースとアルコーブの間に観葉植物の配置も考えられる。また、食堂の座席数もまだ不足しているためΦ1200の丸テーブル3、椅子17脚を配置する。

### (1) 壁面

今回の提案では、壁紙の選択に最もこだわった。美しさと華やかさと品格を備えたウィリアム・モリスの壁紙としたい。モリス商会が商品としている壁紙や布地の模様は、日本で販売されている女性雑誌では、付録のカレンダー、キルティングポーチ、手芸用布地として採用されている。また、女性雑誌では「ウィリアム・モリス」特集も組まれる。このようにウィリアム・モリスのデザインは日本でも時代を超えて愛され続け、特に女性にたいへん好まれるものである。

女子学生の評価が高いと予想する壁紙として、華やかさ、若々しさ、さわやかさ、清々しさ、品格が感じられるウィリアム・モリスの「Fruit」を選択する。色は5色の壁紙商品のなかから、華やかさが感じられる光沢のあるグリーン、ベージュ、淡いピンクを含むものとする。

## (2) 椅子

パウダーコーナーは、食堂2階のリフォーム済スペースから見え隠れする場所なので、インテリアコーディネートとしては関連性を持たせたいところである。リフォーム済の西窓側ランチカウンターには33脚のイームズサイドシェルチェアのレッド、そこに隣接するスローランチエリアには28脚のイームズシェルチェアのアーム付のブルーが設置済である。そこで、パウダーコーナーにも、イームズシェルチェアを選択したい。色は華やかなピンクとし脚部はエッフェルタワーと呼ばれ、細いスチールの組み合わせで座面を支持する合理的な美しさが評価されている DSR とする。

食事用の椅子17脚については、リフォーム済のピアノラウンジに配置したものと同一小型サイズのソファーとする。これは食事用にも適したサイズ (W460, D610, SH400, H790) であり、座り心地及び女子学生が好むかわいらしさを選択した。

## (3) カウンター

人工大理石で半透明クリスタルのブルー系の色、奥行400とする。これは、三宮駅前の商業ビル内のトイレに隣接したパウダーコーナーで使われていて、大理石の高級感とは異なるがさわやかさと清潔感、若々しさがありオシャレと言われるようなスペースを造りだして、平日の昼間でも利用者の絶えない人気のあるスペースとなっている。壁紙として選択したウィリアム・モリスの「Fruit」と色も雰囲気も合うコーディネートであると考えた。

## (4) 鏡と照明器具

アルコーブの壁面に沿ったパウダーコーナーは、柱によって8席と5席に分かれる。鏡は、8席の方の中央は2人で使う大きめの鏡 (W800 H750) でアーチ型、他は1人用の鏡 (W400 H750) でアーチ型とする。照明器具は、最近オープンした東京、大阪の高級ホテルで採用されている鏡の裏にLED照明を組み込むものを提案したいが、費用も考えて図2では全ての鏡の間と8人席中央の大きな鏡の上にブラケットを設置するかたちとした。天井の照明器具はダウンライトとし、鏡の近くにも配置する。

### 3. パウダーコーナーリフォーム計画案 その2

図4はパウダーコーナーを含む食堂スペース全体のパース(その2)、図5は家具配置平面図(その2)である。

パウダーコーナーリフォーム計画案 その1について、食堂改善部会で検討し、リフォーム済の長方形テーブルが並ぶランチコーナーから華やかなパウダーコーナーが見えすぎるといった意見を参考として、パウダーコーナーリフォーム計画案その2を提案した。この計画案は、リフォーム済みのランチコーナーから見ると、アルコーブのなかで奥にあたるコーナーのみ8席をパウダーコーナーとして提案するものである。

リフォーム計画案の作成と検討にあたっては、施設課，学生課，平成23年度，24年度学生部食堂改善部会，その他関係者の方々にご協力いただいた。記して感謝の意を表す。

#### 参考資料

- 1) 本保弘子，神戸女子短期大学食堂2階のリフォームについて，神戸女子短期大学「論攷」第57巻，pp.65-72，2012
- 2) 図書館激震，飲食・お喋りOK，職員はピンク…名門・武庫女の仰天「次世代ライブラリー」，MSN産経ニュース，2013.9.28

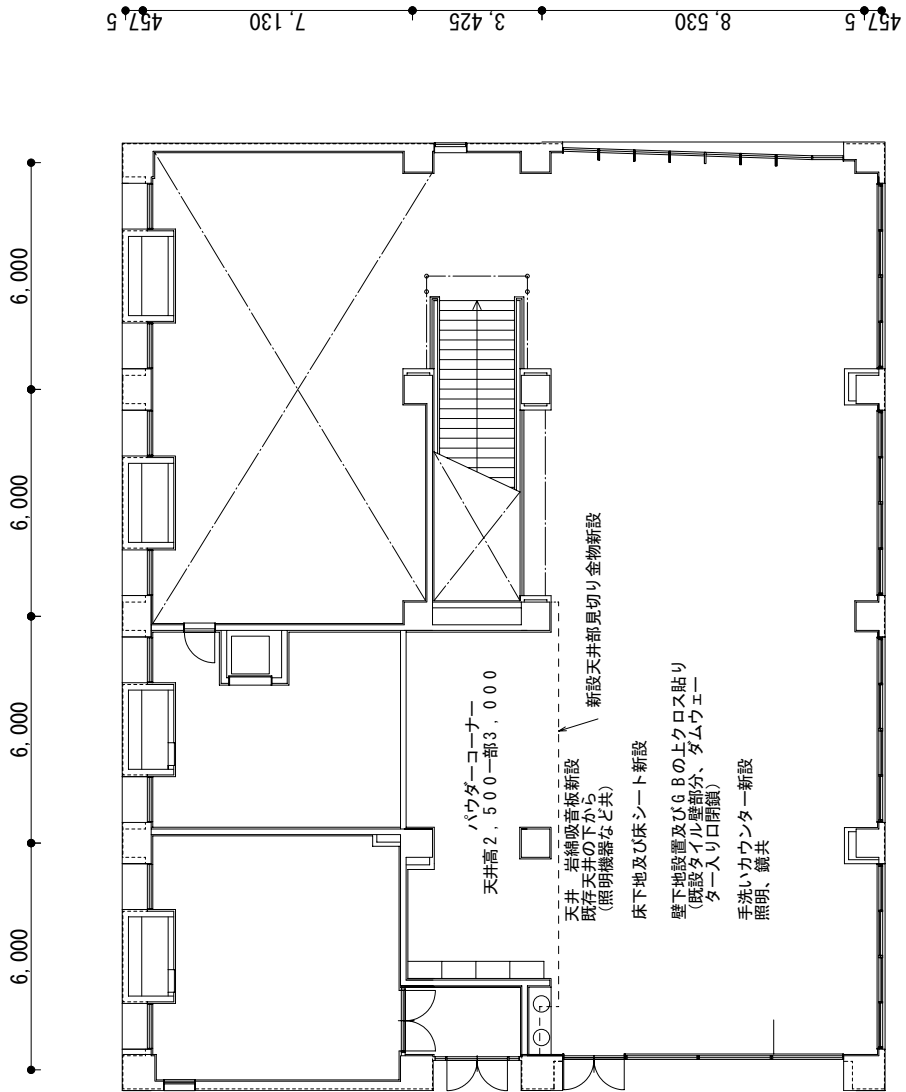


図1 神戸女子短期大学食堂2階リフォーム計画案 平面図 1:200

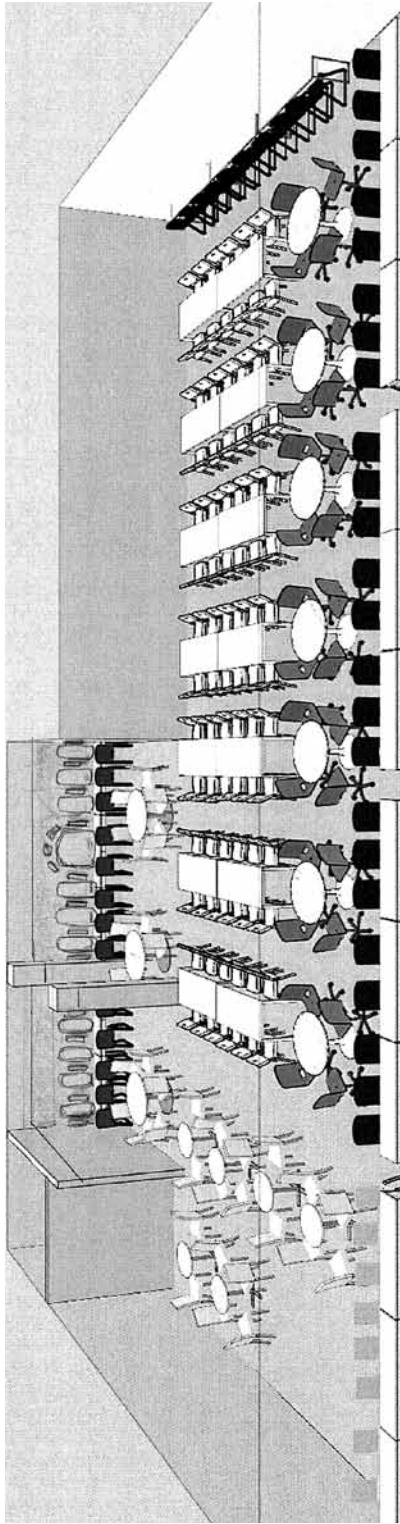


図2 リフォーム計画案その1. パース

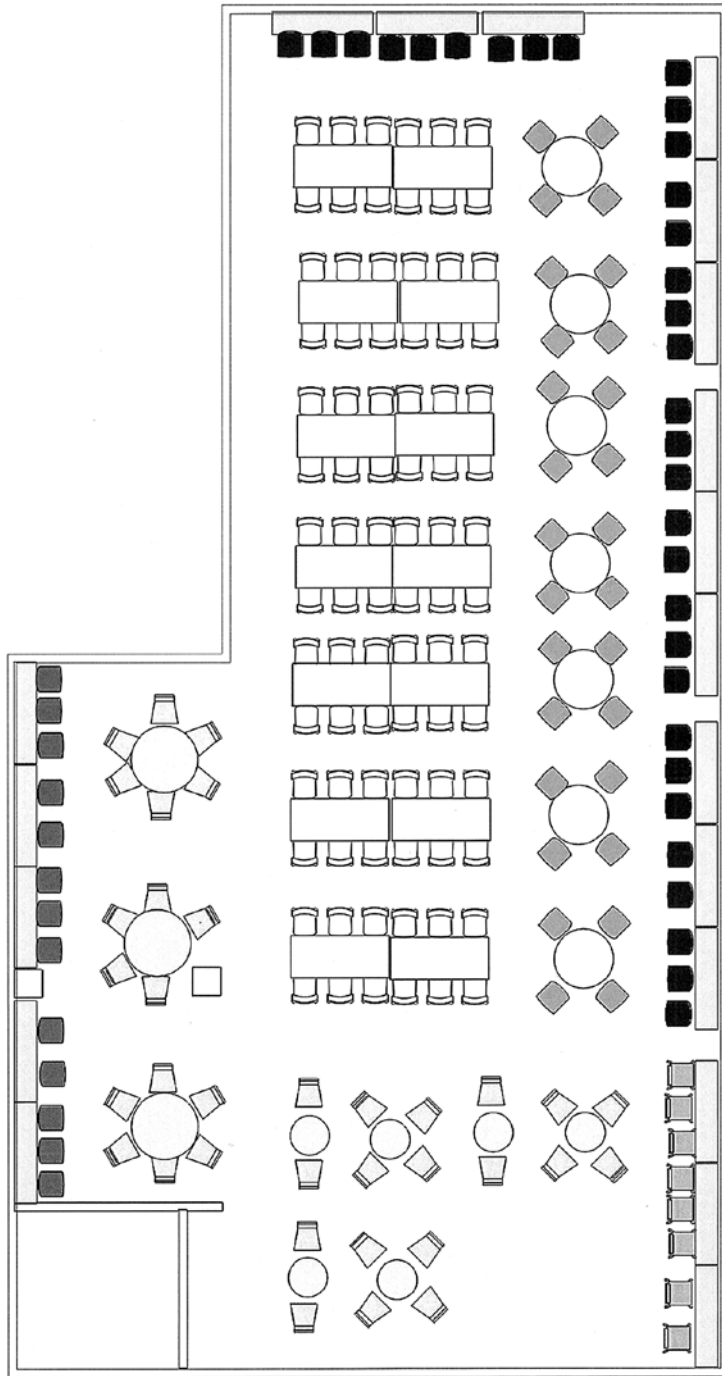


図3 リフォーム計画案その1. 家具配置平面図

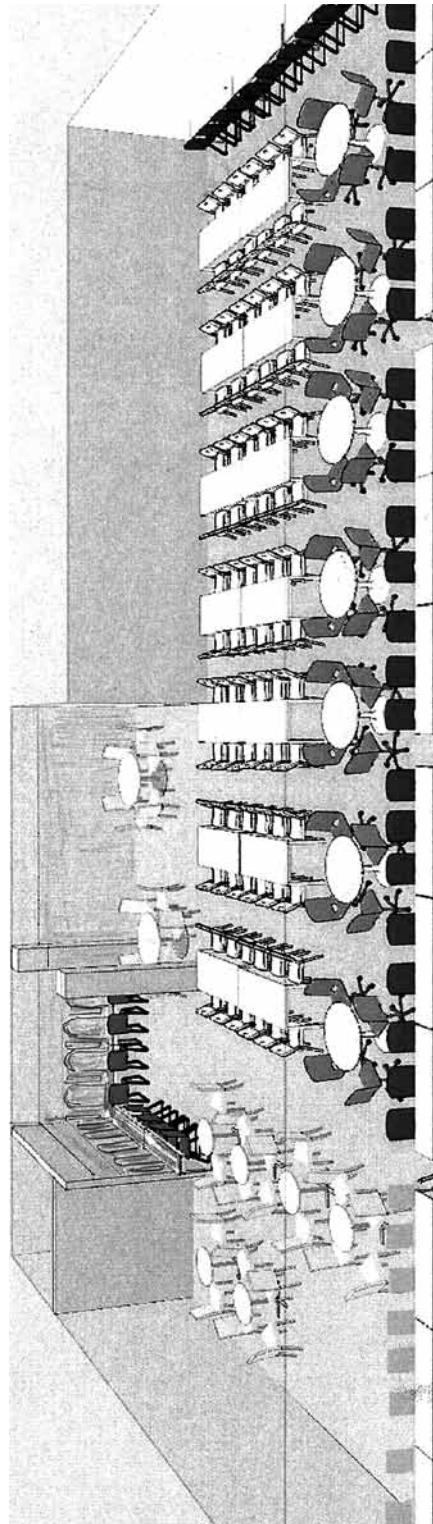


図4 リフォーム計画案その2. パース



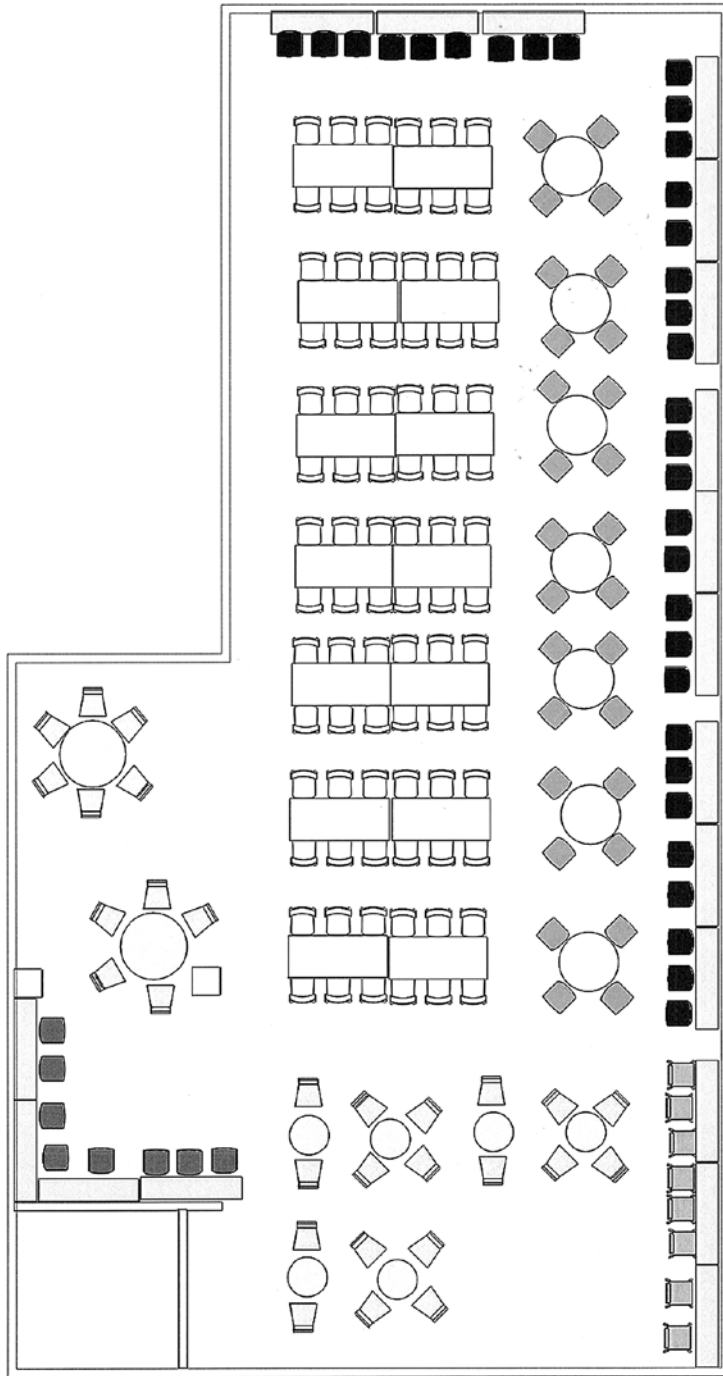


図5 リフォーム計画案その2. 家具配置平面図